

インターモト2010／ファイナル・レポート

会期：2010年10月6日(水)～10日(日) ※5日(火)はプレスデー

会場：ドイツ連邦共和国 ケルンメッセ会場

- 二輪車業界と一般参加者がモーターサイクルの魅力的な世界を称賛
- 「I love INTERMOT」 — 21万人を超えるモーターサイクルの熱烈なファンがバイカーの街ケルンに
- 出展者数4%増加、来場バイカー5%増加
- 大盛況の「インターモト eモーション」でモビリティの未来を提示

2010年、インターモト・ケルンは再び成長しました。主催者であるケルンメッセとドイツ二輪車工業会（IVM）によると、5日間の会期中、21万人を超えるオートバイとスクーターファンがバイカーの街ケルンを訪れました。「インターモト・ケルンがモーターサイクル産業と貿易に必要不可欠であることが、今回見事に証明されました。展示を見学し、情報を収集し、そして発注するために人々はこの見本市に足を運んでいるのです。そして、スローガン「I love INTERMOT」には、この5日間にわたってここを訪れた多くのファンの思いと熱意が表れています」とケルンメッセのオリバー・P・クアト副社長はコメントしました。IVMのライナー・ブレンディック専務理事も、インターモト・ケルンを大成功と受け止めており、「新しいモデルやコンセプトから、モーターサイクル業界が市場回復、さらにはオルタナティブな駆動技術分野への拡大に弾みをつけたことがはっきりとわかります」とコメントしました。「新セグメント「インターモト eモーション」により、原動機付二輪車セクターが、電気モビリティ分野において市場投入可能な高水準に既に達していることが証明されました。将来、特に都市部は電動二輪車の時代になります」

インターモト・ケルンはメーカーの展示、華麗なショー、モータースポーツイベント、体験型アクティビティなど魅力的なプログラムを他にはない組み合わせで提供し、来場者を再び魅了しました。108カ国から195,000人を超す専門バイヤーとオートバイファンが会場を訪れ、メーカーにとっても満足のいく見本市となりました。バイヤー、購買担当などの業界関係者が来場者の約30%を占めました。来場者数が著しく多かったのはベルギー、フランス、オランダ、イタリアで、バイヤーの登録数が多かったのはスウェーデン、オーストリア、イギリスでした。バイカーの街ケルンには総計21万人を超える人が訪れ、インターモト・ケルン、ケルン大聖堂でのモーターサイクル礼拝、ランクセス・アリーナでの「スズキ・ナイト・オブ・ザ・ジャンプス」に足を運びました。5日間にわたり、ケルンは電動二輪車セクターの中心として、そして二輪車に関わる様々な人々の出会いの場としての役割を果たしました。

インターモト・ケルンの出展者数も前回から4%増加しました。40カ国から合計1,107社のメーカーが出展し、1,596ブランドが発表されました（2008年は38カ国1,068社）。ドイツ国内のサプライヤーは合計405社、ドイツ国外のサプライヤーは702社でした。したがって、ドイツ国外の出展者は全サプライヤーの63%を占めました。ドイツの次に出展者数が最も多かった国は、中国、台湾、イタリア、その次にイギリス、パキスタン、アメリカ、オランダが続きます。全主要メーカーがひとつのイベントで一堂に会したのは、前回のインターモト・ケルン以来です。アプリリア、BMW、デルビ、ドゥカティ、ハーレーダビッドソン、ホンダ、カワサキ、KTM、キムコ、プジョー、ピアジオ、スズキ、トライアンフ、ベスパからヤマハにいたるまで、モーターサイクル業界の国際的な現状のすべてがケルンで展示されました。

インターモト・ケルンは、新セグメント「インターモト eモーション」を通して、未来志向のモビリティ分野における電動二輪車セクターの専門技術を強く打ち出しています。焦点を置いているのは、これは原動機付き二輪車と原動機のない二輪車を結ぶ存在である電気を動力とする二輪車です。ホール5.2では120以上のサプライヤーが、そして見本市全体では約350ものブランドが、小型電動車両（LEV）の新製品および新しいアイデアや技術を展示しました。その範囲は電動アシスト自転車や電動バイクにとどまらず、電動スクーターや電動オートバイにまで及びました。電動自動車メーカーの来客者数は開催初日から非常に好調だっただけでなく、一般メディアでも、未来の重要なテーマとして電気モビリティにスポットライトが当てられ、とりわけ多くの紙面を飾りました。報道の反響もあり、さまざまなアトラクションが行われるテストコースも大変な人出となりました。インターモト・ケルンでは、特設レースコースで第一回のLEVおよび電動スクーター世界選手権が開催されました。また、ExtraEnergy.orgが協力するLight Electric Vehicle Conference（小型電動車両会議）や、Bicycle-Friendly Towns and Municipalities in North Rhine-Westphalia Working Group（ノルトライン・ウェストファーレン・オートバイ友好都市ワーキング・グループ）との連携で組織され、短距離モビリティの電力問題を取り扱うe-congressなど、さまざまなシンポジウムやカンファレンスで電気モビリティが話題になりました。さらに、インターモト・ケルンの主催により、国際的なLight Electric Vehicle Association（小型電動車両連盟、LEVA）の総会も開催されました。

イベントに重点を置いた見本市として、インターモト・ケルンでは、オートバイおよびスクーターファン向けに多くの楽しみも用意されました。たとえば、イベントアクション会場では、Chris Pfeiffer（クリス・ファイファー）、Kevin Carmichael（ケビン・カーマイケル）、Oliver Ronzheimer（オリバー・ロンツァイマー）、Horst Hoffmann（ホルスト・ホフマン）によるスペクタクルなスタントショーが開催されました。さらに、プロライダーによるデモンストレーションも行われ、フリースタイルの豪快なモトクロスジャンプやドラッグレースが披露されました。熱戦が繰り広げられたヤマハカップ、KTMやトライアンフのブランドシリーズ、長距離レースの世界チャンピオンによるデモレース、IDM（ドイツ国内選手権）のトップライダーなどを目の当たりにし、来場者はモータースポーツをライブで体験することができました。

インターモト・ケルンでは、来場者の積極的なイベント参加を促すため、体験型アクティビティのプログラムも提供されました。参加者はさまざまなテストコースに挑戦し、見本市の開催期間中に2万回以上の試乗が行われました。ケルンの会場では、ベテランのライダーやオートバイ初心者、オートバイに乗るのが久しぶりというバイカーに加え、子供や若者も初めて自動二輪車を体験することができました。ホール5.1で開催された「インターモト・ヤング・アクション」は、子供や若者にとってまさにパラダイスでした。ティーンエイジャー向けのスクーター、自転車、小型バギー、ミニバイク、オートバイの遊び場やテストコースが用意されました。「ゲーム免許証」を取得するチャンスがあるだけでなく、子供たちはプレイステーションコースに挑戦したり、Wiiゲーム会場でレーシングゲームをプレーして楽しみました。また、ソニー、任天堂およびケルンメッセの協力のもと、ドイツのソフトウェア業界団体BIUが企画した「ゲームコース」では、新作のビデオゲームが盛況を博しました。「キッズ・ハードロック・カフェ」でも子供向けのエンターテイメントが提供されました。

インターモト・ケルンでは第二回のケルン・カスタム・チャンピオンシップが開催され、チョッパー/クルーザー、ファイター、スポーツバイク、カフェレーサーおよびスクーターの各部門の最優秀バイクが発表されました。また、オートバイ会社の「Bike Farm」社が総合優勝し、賞金5,000ユーロに加え、米国サ

ウスダコタ州スタージスで開催されるカスタマイジング世界選手権に直接参加する権利を獲得しました。

今年も、インターモト開催中の土曜日に大型オートバイによるイベントが市街で催行されました。Pastor Erich Faehling（パストア・エリッヒ・フェーリング）氏を中心とするモゴ・ハンブルクチームの協力のもと、バイカーを対象とした第三回のキリスト教式礼拝がケルン大聖堂で行われました。今年は例年以上の参加者が集まり、約5,000人のライダーおよび同乗者が礼拝に参加し、その後、隊列を組んで市街を走行してインターモト・ケルン2010会場に向かいました。夜にはランクセス・アリーナでフリースタイル・モトクロス世界選手権「スズキ・ナイト・オブ・ザ・ジャンプス」が開催され、フリースタイルのモトクロスライダーによるジャンプに1万人を超える観衆が魅了されました。

インターモト・ケルン2010に関するデータ：

インターモト・ケルン2010には40カ国から計1,107社が参加し、うち63%がドイツ国外からの出展者でした。総展示面積は約110,000m²でした。出展者のうち、ドイツ国内サプライヤーが405社、ドイツ国外サプライヤーが702社でした。最終日の概算を含めると、108カ国から195,000人以上のバイヤーと来場者がインターモト・ケルン2010を訪れ、市街でのオートバイのイベントには15,000人以上のオートバイファンが参加しました。インターモト・ケルン2010の総来場者数のうち、バイヤーが占める割合は30%でした。

デジタルプレスサービス：

ファイナル・レポート、追加のプレスリリースおよびケルンメッセのプレス向け画像データベースに保存されている見本市の最新の写真は、インターモト・ケルンの下記ウェブサイトで見ることができます：
<http://www.intermot-cologne.de>（プレス部門）。

インターモト・ケルン2012

2012年10月3日から2012年10月7日まで